

研究テーマ：豊中市障害児教育基本方針（改定版）の実現に向けた支援教育の在り方

**指導案検討（9月）**

小学校 2 学年国語科「ニャーゴ」の単元の学習指導案をもとに、支援学級児童（自閉症・情緒障害学級）の自立活動と支援学級担任の支援方法について検討した。

児童に対して、学級の学びの中でどのような自立活動をすることが出来るかを考え、議論を行った。

具体的な内容として、

①一人でワークシートに考えを書く場面・・・書字の苦手な児童に対しては、穴あきのワークシートなどを用意して、キーワードのみを書かせる。気持ちを表すカードを用意し、選ばせる。考えたこと話し、それを支援学級担任が書く。など

②班活動で意見を伝えあう場面・・・ペープサートを用意し、それを動かすことで感情を表現させる。気持ちを表すカードを用意し、そのカードを選んで班の人に提示させる。など

③授業のふりかえりをワークシートに書く場面・・・表情イラストが数種類のったワークシートを用意し、それを選ばせる。などの意見が出た。

また、指導案にどのように表記するかについても併せて検討した。

**指導案検討（10月）**

小学校 2 学年図画工作科「おめでへんしん！」の題材の学習指導案をもとに、支援学級児童（自閉症・情緒障害学級）の自立活動の指導内容と支援学級担任の指導・支援方法について検討した。

本時の自立活動の設定を、自立活動の内容6区分27項目の中から、

2 - (3)「心理的な安定」 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること

5 - (5)「身体の動き」 作業に必要な動作と円滑な遂行に関することの2つとして、それぞれ

2 - (3)「思い通りにならない時に、作品を壊さずに助けを求めることができる。」

5 - (5)「お面の土台に爪くらいの量ののりを薄く塗ることができる。」

を、目標として設定することとした。

その他、準備物や、配慮事項などについて、詳細に打ち合わせを行った。

**今後の活動**

11月 自立活動授業研究

12月 事例研究（中学校・小学校）

1月 学習会（講師の先生を招いて）

2月 1年間の研究を振り返って

3月 研究報告会